

Iwate University Ihatov Fund Report 2025

岩手大学
イーハトーヴ基金レポート
2025 (2024年度実績報告)

学長挨拶

ご寄附への感謝

日頃から岩手大学に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。特に、2024年7月に開始した創立80周年記念事業に対し、卒業生をはじめ、保護者など多くの方々からご寄附を賜り、誠にありがとうございます。

本レポートは、2024年度の岩手大学イーハトーヴ基金及び創立80周年記念事業への寄附の実績及び活動のご報告を通じ、より多くの皆様に本学の取組についてご理解いただくことを目的に作成したものです。

2024年度にイーハトーヴ基金へご寄附いただいた件数は1,433件となり、2023年度より500件近く増えました。そのうち創立80周年記念事業には9ヵ月間で924件のご寄附をいただき、2029年の創立80周年に対して多くの皆様から関心や期待を寄せていただいていることを実感しております。

皆様の期待に応えるべく、創立80周年記念事業を成功に導くよう、様々なイベント等の開催を予定しております。ぜひご参加いただければ幸いです。

これからも岩手大学の未来を創る新たな挑戦のための取組に、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



岩手大学長 小川 智

寄附の実績

2024年度 寄附の実績

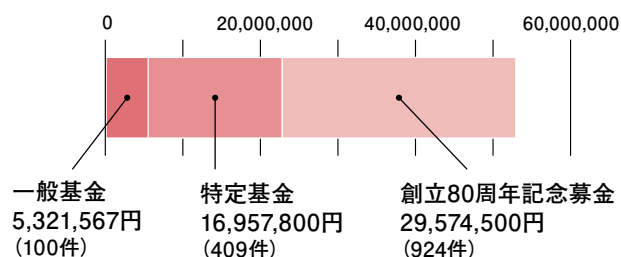
2024年度の岩手大学イーハトーヴ基金(創立80周年記念募金含む)は5000万円に達しました。皆様の深いご理解と多大なるご支援に、厚く御礼申し上げます。

金額

51,853,867円

件数

1,433件



寄附の累計(2015年12月創設～2024年度)

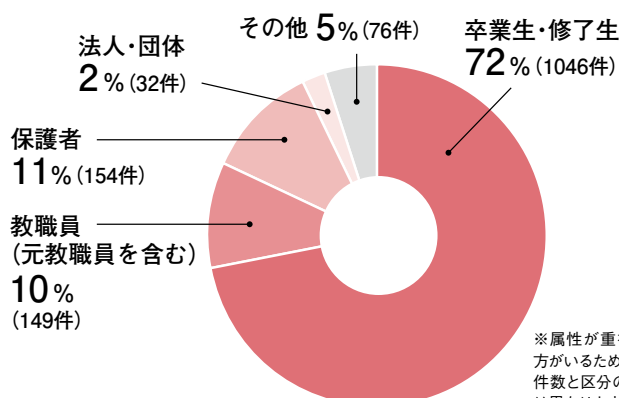
総額

313,278,131円

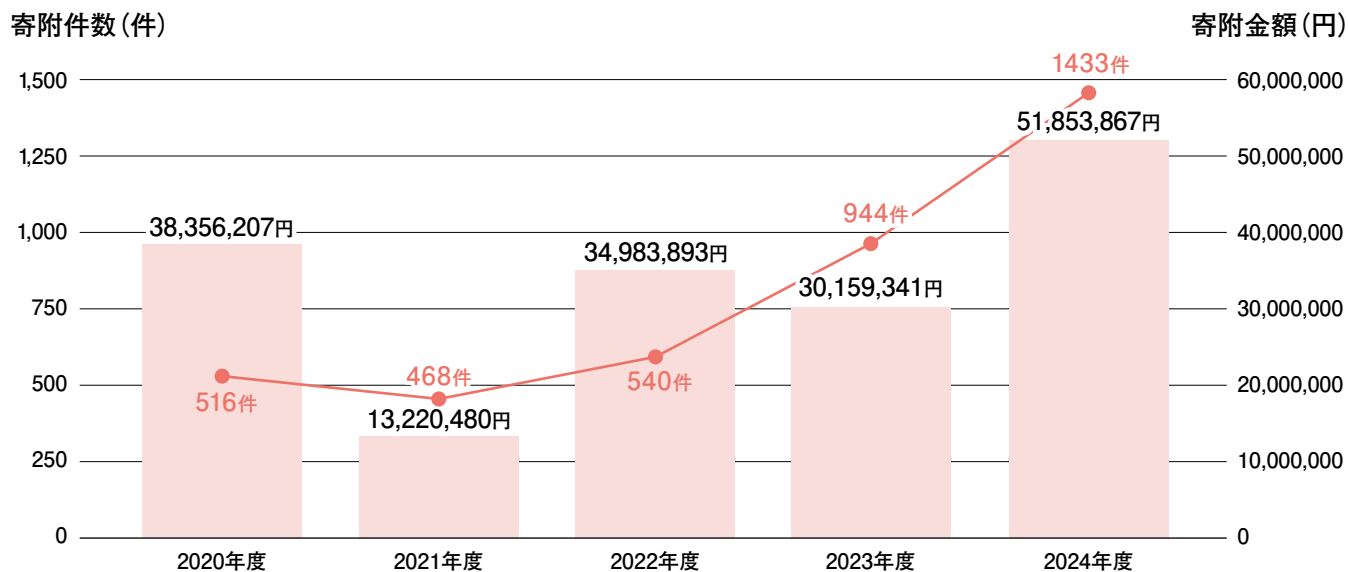
総件数

5,855件

2024年度 寄附者の区分(件数)



過去5年間の実績



奨学金支援「ありがとう」の言葉

岩手大学イーハトーヴ基金では、経済的な理由で修学を断念することがないように給付型の奨学金で学生をサポートしています。2024年度は58人の学生を支援することができました。支援を受けた学生からの御礼のメッセージの一部をご紹介します。



理工学部生

奨学金のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。おかげさまで、興味のある分野についての勉強や研究活動を通して、充実した学生生活を送ることができております。これからも一層努力を重ね、将来は社会に貢献できる人間となるべく精進してまいります。



教育学部生

この奨学金のおかげでこの大学で集中して勉学に励むことができ、大学院合格という結果も得ることができました。本当にありがとうございました。

岩手大学イーハトーヴ基金へのご寄附、誠にありがとうございます。いただいた奨学金は、学習に必要な教科書や研究に必要な物品の購入のために使わせていただきました。心より感謝申し上げます。



農学部生

奨学金は学会発表にかかる旅費や生活費等に充てさせていただきました。特に学会発表ではさまざまな知識を得ただけでなく、多くの研究者や学生との繋がりを持つことができ、今後の進路における重要な機会となりました。ご支援に心より感謝申し上げます。



大学院生



人文社会科学部生

岩手大学イーハトーヴ基金によって、今まで手をつけたくても資金の関係で手を付けられなかった学習に取り組むことができました。これを機に様々なことにチャレンジをし、いつか恩返しができるような人になれるようがんばります。本当にありがとうございました。

活動報告

国際交流・留学生支援「ありがとう」の言葉

岩手大学イーハトーヴ基金では、学生の国際交流や留学を支援しています。本支援事業では一般基金を活用させていただきました。支援を受けた学生からの感謝のメッセージです。



人文社会科学部
高橋 侑那 さん

短期海外研修支援により
フィリピンへ派遣

今回の海外研修は高校時代にコロナウイルスの影響で海外研修を諦めざるを得なかった私にとって非常に特別なものでした。自分と異なる文化に触れその土地の人と交流したこと、そして貧困や環境問題の現状を自らの目で見たことは私の視野を広げ社会貢献に対する思いをさらに強めました。ご支援のおかげで本当に貴重な経験をすることができました。心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



教育学部
佐藤 天徳 さん

短期海外研修支援により
フィリピンへ派遣

わたしは、フィリピン研修を通じて、SDG sの理解を深めることができました。SDG sに関する現状や課題は国や地域によって様々であるため、日本での課題の解決策とフィリピンの活動例を結び付けて考えることが可能であることに気づきました。また、フィリピンの人々と毎日英語を使って交流したので、研修前よりも英語を使うことに自信を持てるようになりました。大学卒業後は岩手県内の公立学校で英語の教員になることを考えているので、これからもたくさんのことに挑戦していきます。イーハトーヴ基金の寄附金による支援をしてくださりありがとうございました。



課外活動支援

イーハトーヴ基金では、学生の活動支援を実施しています。支援を受けた学生団体からの感謝のメッセージです。

岩手大学陸上競技部

今回、ご支援をいただいたことにより、暖かい地域での合宿費用の一部に充てることができ、さらなる競技力の向上につなげることができました。また、ご支援を受けたことによって、より競技に専念することができるようになりました。

今後は、去年よりも良い成績である全国優勝、日本選手権、国スポ入賞を目標として日々練習を積んでいきたいと思えます。この度はご支援いただき、本当にありがとうございました。



岩手大学吹奏楽部

イーハトーヴ基金の寄附金による支援を受けて、部の活動資金にゆとりができたため、レッスンを含め多くの活動を行えるようになりました。

今後の目標としては、悲願である全国大会出場を達成するために、より日々の練習に力を入れていきたいと考えています。また地域の方々に私たちの活動を知ってもらえるように引き続きミニコンサートなどを行っていきます。今回は寄附金によるご支援をいただき、ありがとうございました。今後とも岩手大学吹奏楽部をよろしくお願いいたします。



岩手大学創立80周年記念事業

岩手大学は、2029(令和11)年に創立80周年を迎えます。創立80周年を迎えるにあたり、8つの記念プロジェクトを立ち上げ、総額6億2,200万円を目標に記念募金事業をスタートしました。本学がこれからも地域の中核大学として発展し、社会に貢献していくために、卒業生・修了生、保護者、教職員、そして、地域の皆様のご力添えを賜りたいと存じます。趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

岩手大学創立80周年記念事業の主な取組

- 1 記念プロジェクト・記念募金の実施
- 2 記念サイトの開設
- 3 記念イベントの開催

記念募金事業概要

募集目標金額 622,000,000円

募集期間 2024年7月1日～2030年3月31日

募集金額 【個人】一口:5千円～ 【団体・法人】一口:10万円～

※ご都合に応じ、金額にかかわらず、ありがたくご寄附を頂戴いたします。

8つの記念プロジェクト

Project 01	イーハトーヴ協創ラボ・ 中央食堂整備プロジェクト	目標金額 4億8千万円	Project 02	【人文社会科学部】 創立50周年記念デジタル アーカイブ作成プロジェクト	目標金額 500万円
Project 03	【教育学部】 自然観察園「学芸の森」 再整備プロジェクト	目標金額 1千200万円	Project 04	【理工学部】 修学支援基金強化 プロジェクト	目標金額 1千万円
Project 05	農学部附属植物園エリア・ リボンプロジェクト	目標金額 5千万円	Project 06	高度獣医療を提供する 「新・ワンにゃん号・牛バス号」と モバイル診療導入プロジェクト	目標金額 5千万円
Project 07	図書館の貴重資料を 次世代へ伝えるプロジェクト	目標金額 1千万円	Project 08	岩手グローバルリーダー 人材育成・発信プロジェクト	目標金額 500万円

創立80周年記念プロジェクトへのご寄附実績 (2024年7月1日～2025年3月31日)

総額 **29,574,500円** 件数 **924件**

ご寄附の特典

創立80周年記念募金にご協力いただいた皆様に感謝の気持ちを込めて、ご寄附頂いた金額に応じた特典をご用意しております。

創立80周年記念事業の詳細は
特設サイトからご覧ください

<https://80th.iwate-u.ac.jp/>



創立80周年記念の
学内装飾も
始まっています。

中村 悦子^{さん}

1970年3月岩手大学教育学部卒業。
医療法人なかむら眼科理事長、医学博士。

2025年5月23日(金)、中村悦子さんのご自宅にて収録(茨城県)

岩手大学教育学部を卒業後、 医師を目指して医学部へ

父の仕事の関係で私は小学6年生の時に茨城県から神奈川県へ、高校2年生の時に神奈川県から青森県に転校しました。見知らぬ土地に行くとやり直せる気がして、私は転校が大好きでした。青森県から一番近い国立大学の旧一期校として岩手大学がありました。

教育学部を選んだのは、小学校の担任の先生に可愛がられ、その後、出会った先生たちも尊敬できる方が多く、将来の職業として教職以外は考えていませんでした。しかし大学に入学して間もなく、父が医師にしたいと期待していた弟が不慮の事故で亡くなってしまいました。そこで父から私に改めて医学部受験を持ち掛けられたのですが、その頃はなかなかその気になれませんでした。しかし、卒業が近くになり、人生をやり直してもよい気がしてきて、卒論と並行して受験勉強に突入しました。その頃は両親も神奈川県に戻っており、私も親元で過ごしていました。もう一つの大学

学に行くのですから、岩手大学の卒業式には出席するつもりはありませんでしたが、もし医学部に入れないと大学卒業式というものを味わえないかもしれないという思いが募り、卒業式の前日、急遽母とともに夜行列車で盛岡に向かいました。宿の予約もしておらず、未明にタクシーで移動しました。近所に運よく美容室があり、長くしていた髪を結い、着付けをしてもらい、無事に卒業式に間に合いましたが、到着時にはせっかくの髪はだいぶ崩れていました。忘れられない思い出です。

高校卒業後の受験生とともに都内の予備校にも通いました。その頃、埼玉医科大学が新設され、二浪した後、入学することができました。同じように他大学経験者が何人もいて、私たちは「長老グループ」と言われていました。「入学式の新入生の席になぜ保護者がいるのかと思った」と、からかわれたり、ちょっぴり敬われたり、それなりにまた楽しい学生時代を過ごしました。私は、年齢や性別にあまり拘りがなかったから、いろんなことに挑戦できたのかもしれない。

社交ダンス同好会の思い出

岩手大学時代に熱中したサークル活動はありませんが、小学校課程に所属していたメンバーで立ち上げた社交ダンス同好会は懐かしい思い出です。社交ダンスがお得意の教授のお宅の応接間で教えていただいたのが最初です。市内のダンススタジオで練習するために夜な夜な出かけていました。仲間にはラテンでもモダンでもなんでもすごく上手な人もいましたが、運動も苦手な私はステップを覚えることもままならず、途中でやめてしまいました。それでも、初心者の大会で4位を取ったのは良い思い出です。その頃のダンスパートナーとは今でもメル友です。

好きな仕事に就けたことに感謝

父は病院の事務長の仕事をしていましたが、戦争中は衛生兵でした。そのような中で、子どもを医者にしたいという夢を弟に託していたんですね。親には一番従順だった弟が、青森行きにかなり抵抗し、父もかなり迷ったようですが、結局は連れて行きました。その結果、事故で亡くしてしまったのですから、ずいぶんと自分を責めたようです。弟の事故がなかったら、私は教師になって、今頃は定年後ののんびりした生活を送っていたかもしれません。しかし、私は今の仕事が好きですし、このような状況でいられることに満足しているんです。医学部へ進むことを提案してくれた父に感謝しています。

眼科を開業してから40年が経ちました。この間、開業した当時と同じ時間割で、ほとんど病気で休むこともなく、ずっと一人でやってきました。昨年9月からは大学病院の先生にお手伝いに来てもらっていますが、これからも、まだまだ仕事を続けて行けたらと願っています。

有意義に使ってもらえるところにサポートを届けたい

岩手大学へ初めて寄附をしたのは2022年ですが、実は寄附募集のパンフレットが届いたことがきっかけだったと思います。今後も多くの方に寄附の案内を届け、より多くの方からご寄附をいただけたら良いですね。

私は働ける間は、必要なところに支援を届けたいと思っています。2024年1月の能登半島地震では古河市からふるさと納税と日本医師会からの呼びかけで寄附をしました。東日本大震災のときには、親を失った子どもの里親になり、希望の学校に行かせてあげたいと考えたりもしました。様々な条件があり、里親になることは断念しましたが、何か助けになりたいと強く思いました。

私は、これからも有意義に使ってもらえるところにサポートを届けたいと考えています。



寄附のご案内

岩手大学創立80周年記念事業へのご寄附について

岩手大学創立80周年記念募金事業（本レポート5頁参照）へのご寄附につきましては80周年記念サイトをご覧ください。岩手大学基金室までご連絡ください。払込取扱票付きのパンフレットもございますので、ご連絡いただければ、郵送させていただきます。皆様のご賛同、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



岩手大学 創立80周年記念サイト
<https://80th.iwate-u.ac.jp>

岩手大学イーハトーヴ基金へのご寄附特典について

ご寄附いただいた皆様に感謝の意を込めて、以下の特典をご用意しております。

すべての寄附者の皆様

お礼状の贈呈

ご寄附いただいた皆様全員に、学長からのお礼状を贈呈させていただきます。

ご芳名の掲載

イーハトーヴ基金HP及び広報誌にて、ご芳名を「岩手大学イーハトーヴ基金寄附者芳名録」として掲載させていただきます。

10万円以上のご寄附をいただいた皆様

10万円以上ご寄附いただいた皆様には、本学構内（本部棟または学生センターA棟）の顕彰銘板に、ご芳名を掲載させていただきます。ご寄附の金額に応じたプレートをご用意しています。

プレートの種類



ゴールド
50万円以上



シルバー
30万円以上



ブロンズ
10万円以上



※ご芳名の公開を希望されない方につきましては、掲載いたしません。ご芳名は「基金寄附申込書」「払込取扱票（振込通知書）」に記載されたお名前を掲載します。ご寄附金額の公開を承諾いただいた皆様につきましては、金額も掲載させていただきます。

寄附の申込方法

本学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けております。また、様々な方法でご寄附をお受けしておりますので、下記詳細をご覧ください。

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済

寄附支払いサイト＜F-REGI＞からご寄附を受け付けています。

① 岩手大学イーハトーヴ基金HPのトップページ上の「寄附をする」ボタンへ進む



岩手大学イーハトーヴ基金HP
トップページ

② 「クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済を利用して寄附する場合」欄の「F-REGIサイトから寄附をする」ボタンへ進む

③ F-REGIサイトが開いたらページの最下部にメールアドレスを登録する

④ 登録したメールアドレスに届いたインターネット納付用URLにアクセスし、必要情報を入力する

※お申し込みから領収書の送付まで1～2か月程度の期間をいただきます。領収書の日付は、寄附申込完了日ではなく、本学に入金があった日付となりますのでご注意ください。

● ご利用いただけるクレジットカード



● ご利用いただけるコンビニエンスストア

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、セイコーマート

銀行振込

銀行振込（手数料有料）をご利用いただく場合は、右記のフォームへ進み、必要事項入力の上、送信してください。メールにて振込先銀行口座情報をお知らせいたします。



銀行振込
申込フォーム

郵便振替

イーハトーヴ基金パンフレットにある払込取扱票に必要事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局窓口にて払い込み手続きをお願いします。払込取扱票付パンフレットがお手元にはない場合には、岩手大学基金室までお問い合わせください。

継続寄附

クレジットカード決済により定額の継続寄附が可能です。ご支援金額は、1,000円から任意の設定をいただけます。寄附支払いサイト＜F-REGI＞（※上記クレジットカード決済の詳細をご覧ください）の寄附方法の選択から毎月、毎年等、頻度を設定してください。※ご寄附いただいた金額は累計されます。



発行／国立大学法人岩手大学 基金室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
Tel:019-621-6091 Fax:019-621-6014
Email:kikin@iwate-u.ac.jp



HP



X